



新聞まさひこ通信

あけぼの



公明党福岡県議団 会報
発行責任者
福岡県議会議員
新聞 昌彦
福岡市早良区曙2-1-35
Vol.67号
平成28年1月26日発行

12月定例議会報告

太陽光発電施設の実態を調査し、 保守点検する制度を創設すべし!



平成28年4月、電力の小売が自由化され福岡県も26社が参入予定。

再生可能エネルギーの内福岡県は、太陽光発電施設の設置が、全国一であるが、課題も抱えている。

太陽光発電施設は、毎日の保守点検がなされていけば、長期の利用が可能。しかし、点検がなされていない設備は、トラブルが多いのが実態。

是非、太陽光発電施設の実態を調査し、保守点検の制度を作るべきと質問。

知事は、国が保守点検の規制強化を検討している。県としては、実態の調査についても、国の検討作業を注視していきたい。と答弁しました。

小川知事に240項目の予算要望提出



12月18日小川洋福岡県知事に対して公明党福岡県議団の重点11項目他240項目の予算要望を提出。現場の声を届けました。小川知事は、「公明党の現場主義の予算要望に敬意を表する。特に来年度予算は、若者支援について全庁横断的、市町村の地域全体で支援できるようにして参りたい。」と発言がありました。

公明党の現場主義の予算要望に敬意を表する。特に来年度予算は、若者支援について全庁横断的、市町村の地域全体で支援できるようにして参りたい。」と発言がありました。